

年間授業計画様式例

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（公民）科目：（公共） 年間授業計画

教科：（公民）科目：（公共）

単位数：（2）単位

対象：（第2学年 A科～ G科）

教科担当者：

使用教科書：（『公共 私たちがひらく未来・社会』清水書院）

使用教材：（『フォーラム 公共 2023』とうほう）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--|--|--|----------|
| 4月 | 公共の授業概要 テーマ学習 環境・貧困・人口・食料問題を学習 | ・評価の基準や年間授業計画を確認。 ・公共とは何かを学ぶ ・各テーマへの理解を深め、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。 | （評価方法） 定期考査 提出物 調べ学習 （評価の観点） 【知識・技能】 実社会に必要な公共の知識や技能を身につけるようにしている。 【思考、判断、表現】 幸福・正義・公正などに着目して、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、公共的な空間における基本的原理について、思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、十分に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 | 4 |
| 5月 | 民主政治の原理 国際政治のしくみと役割 | ・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配という近代民主主義国家の基本的な原理を理解する。 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義を確認し、国際社会が抱える課題を考察する。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 8 |
| 6月 | 人権の尊重と日本国憲法 日本国憲法の概要 平等権・自由権・社会権・参政権・請求権・新しい人権 | 日本国憲法の3つの基本原理を踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深める。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 6 |
| 7月 | 民主政治の成立と課題 政治参加と主権者 選挙と政党 | 民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、有権者として社会に関わる意識を高めさせる。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 4 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 国際政治の現状と課題 | 民主主義における仕組みを理解した上で、民主主義が抱える問題を調べ学習を通し多面的・多角的に考察する。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 6 |
| 10月 | 公共的な空間をつくる私たち 私たちの人生と社会 青年期の心理と課題 哲学の始原と発展 | 青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 4 |
| 11月 | 公共的な空間をつくる私たち 一神教の教え・仏教・儒教・日本の風土 | 人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解させる。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 4 |
| 12月 | 公共的な空間における人間 生命倫理 | 生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、安楽死・尊厳死をテーマに法整備を考察する。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 2 |
| 1月 | 公共的な空間における基本的原理 社会契約・功利主義・マルクス | 社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 4 |
| 2月 | 私たちと経済活動 仕事と社会 労働問題 社会保障の役割 | 私たちの生活における経済の役割について理解させる。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 3 |
| 3月 | 課題編 ともに生きる社会をめざして | これまでの学習を基礎に、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、対話を通して多面的・多角的な視点を深める。 | 公共的な空間を作る私たちとして、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を自らとらえ、主体的に解決しようとしている。 | 2 |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(公民) 科目：(現代社会) 年間授業計画

教科：(公民) 科目：(現代社会)

単位数：(2) 単位

対象：(第3学年 A科～ G科)

教科担当者：

使用教科書：(高等学校新現代社会 帝国書院)

使用教材：(フォーラム現代社会 とうほう 高等学校新現代社会ノート 帝国書院

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|--|--|----------|
| 4月 | 現代社会の授業概要 テーマ学習 環境、人口・資源・エネルギー、生命、情報の中から2つ | 現代社会とは何を学ぶか テーマに沿って、アクティブラーニング形式で行う。各テーマについて自分の意見を持てるか、また他人との協働で意見をまとめることができるか。主体的に取り組むことができるか。 | 1学期 観点：何を学ぶかを理解したか？ 観点：憲法の意義、法の支配の重要性を理解したか 観点：日本国憲法の成立過程に触れ、自ら憲法について考える機会を持ったか。 観点：旧憲法との比較置いて、何が変わってどうなったのか 観点：平等権の内容と重要性を理解したか 観点：未だ残る差別について考える機会お持ちしたか 観点：自由権はなぜ必要か、どう考えるかの機会を持ったか 観点：身体的自由がない場合、どう考えるか 観点：公共福祉との兼ね合いをどう考えるか 観点：社会権はなぜ必要か、どう考えるかの機会を持ったか 方法：発問に対する意欲、ノート 観点：各事項を理解、考察できているか 方法：調査の回答 | 16 |
| 5月 | 青年期の意義 よく生きるとは | 青年期の特性について、理解を深めることができるか。 哲学者の「よくいきる」を理解する | 2学期 観点：三権分立や国会、内閣の仕組みを理解し、なぜ必要か 観点：国会内閣にはなぜ様々な権限があるか 観点：これらの仕組みを理解し、主権者としての自覚を持つ機会に 観点：司法制度改革の内容、必要性を理解する 観点：地方自治の意義の理解 観点：地方自治がより身近である仕組みを理解する 観点：政党の存在意義、主な政党の主張 観点：選挙制度の理解と政治参加の意識を持ったか 観点：9条とその重要性、世界情勢と安保の疑義 方法：発問に対する意欲、ノート 観点：各事項を理解、考察できているか 方法：調査の回答 | 24 |
| 6月 | 近代立憲主義の原理 日本国憲法の概要 平等権と差別 平等権と差別 自由権(1) 自由権(1) 自由権(2) | 近代立憲主義、法の支配、社会契約説、日本国憲法の成立過程、日本国憲法の原則 旧憲法との比較、法の下での平等、教育の機会均等、選挙における平等、差別について、思想良心の自由の理解 | 2学期 観点：三権分立や国会、内閣の仕組みを理解し、なぜ必要か 観点：国会内閣にはなぜ様々な権限があるか 観点：これらの仕組みを理解し、主権者としての自覚を持つ機会に 観点：司法制度改革の内容、必要性を理解する 観点：地方自治の意義の理解 観点：地方自治がより身近である仕組みを理解する 観点：政党の存在意義、主な政党の主張 観点：選挙制度の理解と政治参加の意識を持ったか 観点：9条とその重要性、世界情勢と安保の疑義 方法：発問に対する意欲、ノート 観点：各事項を理解、考察できているか 方法：調査の回答 | 24 |
| 7月 | 定期調査 社会権・参政権・国務請求権 広がる人権 | 参政権 国務請求権 環境権 プライバシーの権利 自己決定権 知る権利 の理解 | 2学期 観点：三権分立や国会、内閣の仕組みを理解し、なぜ必要か 観点：国会内閣にはなぜ様々な権限があるか 観点：これらの仕組みを理解し、主権者としての自覚を持つ機会に 観点：司法制度改革の内容、必要性を理解する 観点：地方自治の意義の理解 観点：地方自治がより身近である仕組みを理解する 観点：政党の存在意義、主な政党の主張 観点：選挙制度の理解と政治参加の意識を持ったか 観点：9条とその重要性、世界情勢と安保の疑義 方法：発問に対する意欲、ノート 観点：各事項を理解、考察できているか 方法：調査の回答 | 24 |
| 8月 | | | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | |
| 9月 | 政治のしくみ 国会 内閣 | 三権分立 議会制民主主義 国会の権限と役割 国家のしくみ 二院制と国会の種類 内閣の権限と役割 の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 32 |
| 10月 | 内閣 行政 世界の政治 司法 | 国会との関係 議院内閣制 行政の役割と組織 主な各国に政治体制 司法の役割としくみ の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 24 |
| 11月 | 司法 地方自治 政治しくみとマスメディア | 司法制度改革 地方自治の考え 地方自治のしくみ 政党とは 世論とマスメディア の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 32 |
| 12月 | 定期調査 選挙制度 平和主義と安全保障 | 日本の選挙制度 選挙の課題 平和主義 日米安保条約 の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 12 |
| 1月 | 経済のしくみ 市場経済 経済の変動 企業 金融 財政 | 経済とは、市場 市場経済(資本主義経済と社会主義、価格機構、市場の失敗)、経済指標、景気変動 企業の種類、株式 金融の役割としくみ、日本銀行 財政のしくみ、財政の機能 の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 24 |
| 2月 | 豊かな社会の実現を目指して 国際経済 | 公害、消費者の権利、労働者の権利、社会保障 国際経済の仕組み、国際収支、為替、国連 の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 24 |
| 3月 | 定期調査 国際経済 | 領土問題、国際協力 の理解 | 3学期 観点：資本主義における市場の役割 観点：市場のしくみ、市場委の失敗の理解 観点：経済指標や景気変動の影響の理解 観点：企業の役割と株式のしくみの理解 観点：金融の理解と政策の影響の理解 観点：財政政策とその影響の理解 観点：日本経済のあゆみの理解 観点：国際的影響と現在の日本経済状況の理解 | 16 |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(地理歴史) 科目：(世界史A) 年間授業計画

教科：(地理歴史) 科目：(世界史A)

単位数：(2) 単位

対象：(第4学年 A 科～ G 科)

教科担当者：

使用教科書：(世界の歴史A 山川出版)

使用教材：(世界史ミュージアム とうほう)

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|-----------------------------|--|---|----------|
| 4月 | 世界史Aとは 世界の諸文明 | 世界史Aの概略など 東アジア世界Ⅰ 東アジア世界Ⅱ 東アジア世界Ⅲ 南アジア世界 東南アジア世界 | 近代以前の歴史の流れを司会 できているか。近代～現代の 歴史を理解できているか。 定期考査と授業プリント及び 授業態度等を総合的に判断し て、評価する。 | 24 |
| 5月 | 世界の諸文明 世界の一体化の始まり | 西アジア世界Ⅰ、西アジア世界Ⅱ、西アジア世界Ⅲ 古代地中海世界、ヨーロッパ世界Ⅰ、ヨーロッパ世界Ⅱ 16世紀の世界と一体化の始まり、明代の東アジア、サファ ヴィー朝とムガル朝、オスマン帝国 | | 24 |
| 6月 | 世界の一体化の始まり | 大航海とアメリカ征服、新しい時代の始まりとルネサンス、宗教改革、スペイ ンの時代からオランダの時代へ、絶対王政と議会王政、東ヨーロッパの専制、 大西洋経済 | | 32 |
| 7月 | 近代の世界 | 啓蒙とアメリカ独立 フランス革命 ナポレオンとその帝国 | | 24 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 近代の世界 | イギリス産業革命 ウィーン体制と自由主義改革 1848年とイギリス・フランス クリミア戦争とオーストリア・ロシア イタリアとドイツ統一 | | 32 |
| 10月 | 近代の世界 急変する人類社会 帝国主義時代 | アメリカ合衆国の発展とカナダ ラテンアメリカと世界資本主義 19世紀の西アジア、南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアと列強 資本主義社会の成熟、国民統合の様々な試み 世界分割と一体化の進展、帝国主義の国際対立 | | 32 |
| 11月 | 帝国主義時代 二つの世界大戦 | 日露戦争と韓国併合、辛亥革命 第一次世界大戦、ロシア革命 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 1920年代のアメリカとヨーロッパ | | 32 |
| 12月 | 二つの世界大戦 | アジア諸地域の抵抗と独立 東アジアの民族運動 世界恐慌 ファシズムの台頭 | | 24 |
| 1月 | 二つの世界大戦 | 第二次世界大戦前夜の世界 第二次世界大戦Ⅰ 第二次世界大戦Ⅱ | | 24 |
| 2月 | 平和と冷戦 現代世界と日本 | 冷戦の開始、冷戦の激化と核戦争の危機、第三世界の出現 米ソの動揺と多極化する世界、冷戦の終結、グローバル化とアメリカ、EUの 拡充とヨーロッパ、アフリカの現状 中東情勢とイスラーム、躍動するアジア、地域社会とこれからの日本 | | 32 |
| 3月 | | | | |

年間授業計画様式例

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(地理歴史) 科目：(日本史A) 年間授業計画

教科：(地理歴史) 科目：(日本史A)

単位数：(2) 単位

対象：(第4学年 A科～ G科)

教科担当者：

使用教科書：(新日本史A 実教出版)

使用教材：(写真資料館 日本史のアーカイブ とうほう)

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|----------------|---------------------------------------|---------------------------------|----------|
| 4月 | 日本史Aとは | 日本史Aの概略など | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 1 |
| | 東アジア世界の転換 | 19世紀の世界とアジア,東アジアと日本,ヨーロッパ世界との衝突 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 開国 | 日米和親条約,日米修好通商条約,開国前後の国内 | | 2 |
| 5月 | 明治維新 | 倒幕運動の高まり,戊辰戦争と大政奉還,王政復古の大号令,版籍奉還と廃藩置県 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 国境の策定 | 日清修好条規,日朝修好条規,千島樺太交換条約,琉球処分 | | 2 |
| | 明治政府の諸改革 | 地租改正、四民平等と国民皆兵,殖産興業,明治六年の政変 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 自由民権運動 | 国会開設,西南戦争,政党結成の高まり,明治十四年の政変 | | 2 |
| 6月 | 大日本帝国憲法 | 私擬憲法と憲法制定,大日本帝国憲法の制定,帝国議会 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 文明開化と新しい文化交流 | 文明開化,岩倉使節団,お雇い外国人 | | 2 |
| | 19世紀の東アジアと日清戦争 | 壬午軍乱と甲申事変,日清戦争 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 日露戦争から韓国併合 | 日露戦争と国内情勢,韓国併合 | | 2 |
| 7月 | 産業化の進展 | 官営製鉄所,財閥,金本位制 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 日露戦争後の社会 | 労働の変化と社会主義思想,社会問題と社会運動 | | 2 |
| | 都市社会の展開 | 都市の文化 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 大正デモクラシー | 第一次護憲運動,民本主義,大正デモクラシー思想家 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 第一次世界大戦下の社会 | 第一次世界大戦,日本の参戦,対中国政策 | | 2 |
| | ヴェルサイユ体制 | パリ講和会議,諸外国との関係 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 日本の植民地 | 台湾支配,朝鮮支配 | | 2 |
| 10月 | ワシントン体制 | ワシントン体制と日本,幣原外交 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | アジアのなかのモダニズム | 女性の活躍,モダニズム | | 2 |
| | 改造の時代 | 改造の動き,社会主義と国家主義,政党内閣 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 都市の生活と農村の生活 | 関東大震災,1920年代後半の文化,農村社会の変化 | | 2 |
| 11月 | 移動する人々 | 移民,日本帝国主義 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 大日本帝国の選択肢 | 第二次護憲運動,治安維持法,山東出兵 | | 2 |
| | 昭和恐慌 | 昭和恐慌と金融政策,国内経済の影響,プロレタリア文学 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 満州事変 | 柳条湖事件と満州国,五・一五事件と日本のファシズム | | 2 |
| 12月 | モダン都市と危機の農村 | モダン都市の文化,二・二六事件 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 日中戦争 | 日独伊三国同盟,盧溝橋事件,日中戦争 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 総動員の時代 | 国家総動員法,大政翼賛会 | | 2 |
| 1月 | 太平洋戦争1 | 太平洋戦争の幕開け | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | 太平洋戦争2 | 戦争と国内情勢 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| | 戦時下の社会と抵抗 | 戦争終結間近の情勢 | | 2 |
| 2月 | 大東亜共栄圏 | 占領下のアジア,占領地の抵抗 | 観点：知識の定着、知識に基づく公民的資質の形成、図表の活用能力 | 2 |
| | アジアのなかの敗戦 | 東京大空襲,沖縄戦,原爆 | | 2 |
| | 敗戦前後のくらし | 太平洋戦争と国民生活 | 評価：授業態度、提出物、考査など | 2 |
| 3月 | | | | |

| 月 | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|---|------|-------------|----------|----------|
| | | | | |